



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより
令和6年 新春号

2024年の始まりにあたって

横浜市立末吉小学校
校長 高山 和宣

新春のご挨拶を申し上げます。皆さんにとって、新たな年が安全で平和なものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

まず初めに、1月1日に発生した能登半島沖での地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興と、安心して日常生活を取り戻されることを切にお祈りしております。被災された地域では、このような困難な時期においても前を向いて、歩いていらっしゃいます。学校、家庭、地域との連携や互いの支え合いが大切であると痛感しております。

学校と家庭が共に歩む大切さを改めて感じつつ、我々も一人ひとりができる範囲で、復興に向けて応援していきたいと考えています。

さて、2024年の学校が始まり、元気に登校する子どもたちを見て、教職員も元氣をもらっているところです。

年始めの朝会で、子どもたちに今年の目標の話を行いました。その日の朝に、数名に「今年の目標は何ですか？」と尋ねると、「漢字を頑張る」とか「算数を頑張る」とか「野球を頑張る」などの答えが返ってきました。

目標の方向としてはよいことだとは思いますが、この「頑張る」という目標では、今日はどこまで頑張ればいいのか、或いは、自分の努力がどのくらい達成できたかなどが見えてきません。努力を具体的に振り返ることが難しいのです。

子どもたちへの話で、「数字や何かをクリアするなどの具体的なことを目標に入れてみましょう」と提案をしました。例えば「毎日漢字を10こ以上練習する」や「一日10人以上の人と挨拶をしたりありがとうを言ったりする」などです。

そして、もう一つ伝えたことがあります。目標を立てたものの、自分の思い通りにならないことはたくさんありますが、その時に「人のせいにしない」ということです。

「勉強の目標を立てたけどお母さんが手伝ってといたからできなかった」「挨拶をするという目標を立てたけど相手が挨拶を返してくれなかったから自分からはもうしない」などの例をあげてみました。人はその時の残念な気持ちや怒りの気持ちで人のせいにしたくなるものです。しかし、このように人のせいにすると、目標はいつまで経っても達成することはできません。人のせいだから、自分は今のままで変わる必要はないと思うからです。それよりも、はじめに立てた目標を達成するためにどうしたらいいかと考え、工夫できることがその人をずっと成長させていきます。

厳しいこともあります。子どもたちが希望を胸に、安心して学び、成長していくことができる環境づくりに職員一同力を合わせて取り組んでまいります。これからも、学校と家庭が連携し、目標の実現に向かう未来を築いていきたいと考えております。